

追跡

あの指摘はどっとなった？

(平成29年第3回定例会から
平成30年第2回定例会の留意事項)



指摘 学童クラブ支援員等
処遇改善事業補助金に

ついて、結果として去年に続き、補助金返還があった。補助金返還が生じた原因は補助対象要件を満たしていなかったことが挙げられる。学童クラブに対して補助金返還が生じることのないように、制度等をさらに周知徹底するよう努め、管理・指導を強化するよう意見する。
(平成29年9月定例会)

対策 年度初めに学童クラブへ補助金申請の説明会を開催し、変更内容等を説明し、制度の周知徹底を図る。

さらに、決算報告(実績報告)の際、支援員の配置状況や賃金台帳を必要書類として提出する。高額の補助金の返還がないように対応する。(民生部こども課)



指摘 住宅リフォーム事業
は予算760万円に対し

決算額735万8千円と町民からの需要が高い事業であるが、平成29年度は予算が減額となり抽選を行っていることを確認した。平成29年度も平成28年度同様の予算措置をするよう意見する。
(平成29年9月定例会)

継続 平成29年度までの住宅
リフォーム事業の目的は達成さ
れた。

平成29年度までの本事業の目的は、町内小規模事業者の緊急経済対策として行っていたが、建設工事等事業者の受注状況等から事業目的を達成したものと考えている。そこで平成30年度からは、国・県が定める補助対象事業項目(省エネルギー、バリアフリー、耐久性向上)につ



指摘 浸水対策事業の通信
線等移設に係る事業で

補償費の算定誤りにより、補助金返還があった。議会では関係機関との連絡調整を重視し、事業執行を慎重に進めるように留意事項を付して可決した。
(平成29年12月定例会)

継続 補助事業の執行にあたり、
国・県と十分に協議調整し、事
業執行に取り組む

(経済建設部 画下水道課)



指摘 南風原南インターチェ
ンジ周辺は第5次南風

原町総合計画で新規産業集積ゾーンとなっている。計画の策定に向けてはゾーニング(土地利用構想)をはつきり持ち、ていねいに進めること。
(平成30年3月定例会)

継続 地域の関係地権者と土
地利用構想について十分に調整
を行い、策定に向けて取り組む。



南風原南インターチェンジ付近の様子

南風原南インターチェンジ周辺は交通便利性が良く、新規産業の集積を促し、新たな産業の誘致や町内の産業移転用地として活用できるよう検討を行うことと計画で位置づけられている。今年度は地区の実体を踏まえた基礎調査を実施し、新たな産業立地の可能性を調査し、実現に向けて課題を明らかにする基本構想を策定する。
(経済建設部 まちづくり振興課)